

## 課題名 列車の混雑を見える化し、乗客が安く乗れるかつ、混雑を緩和し、安心して移動できる社会の実現 (STEP2)

### プロジェクトの概要

コロナ禍前は満員電車。コロナ禍により混雑に対する恐怖が芽生えた中で、通勤・通学における混雑緩和対策に国、各鉄道会社も取り組んでいる。アプリでの混雑情報やオフピーク通勤でのポイント等の取り組みも行われているが、利用は、一部の乗客のみであり、多くの乗客の行動変容を起こすまでには至っていない。本研究は、IoTデバイスにより列車の混雑をリアルタイムに見える化し、利用者が自ら選択して混雑を回避できるように情報を提供する。さらには、運行の効率化を図り、新しい移動の創出とともに、沿線地域を活性化させ、将来的には無料交通社会の実現を目指す。



### ビジネスモデル (申請時)

マルチサイドプラットフォームモデルとすることで、収益の方向を増やし、プロダクトモデルからの転換を図る。アクターは、我々、鉄道、乗客、地域店舗等となる。

### 活動計画 (申請時)

活動計画は、混雑の見える化である。混雑度情報提示と混雑緩和を目的としている。

- 利用者が自ら選択して混雑を回避できるような行動変容を促す。
- インセンティブにより行動変容を加速させる実証実験を計画している。



(★印のある) 空いている車両に移動することで  
キャッシュポイントゲット

